

## 第5学年3組 社会科学学習指導案

平成26年1月15日(水) 第3時限 場所 5年3組教室 教諭 川口 麻衣

### 1 単元名 わたしたちの生活と森林 (7時間完了)

#### (1) 目標

- ① 森林資源の働きや、育成や保護の取り組みの様子に関心をもち、意欲的に調べることができる。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ② 森林資源が私たちの生活や産業と密接な関係をもっていることや、森林資源を守るためにはどうすればよいか、自分なりの考えをもつことができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- ③ 日本の森林資源の現状や抱える問題、人々の工夫や努力について、複数の資料を関連付けて読み取ったり、整理したりすることができる。  
(観察・資料活用の技能)
- ④ 国土の保全や森林資源の重要性、森林資源に従事している人々の工夫や努力を知り、環境保全のための国民一人ひとりの協力の必要性を理解することができる。  
(社会的事象についての知識・理解)

#### (2) 構想

子供たちはこれまで、日本の国土の様子について地形や気候の特色を学びながら、列島に住む人々が自然を利用したり、生かしたり、克服したりしながら、どのような生活を営んでいるのかを学んできた。また、水産業では、安全でおいしい魚を育てるために、豊かな森林が大切な役割を果たしていることを学んだ。これらの学習を通して、問題解決のための資料の読み取り方や生かし方を学び、調べたことを自分の言葉でまとめられる子供が増えてきた。

国語科「森林のおくりもの」では、身近なものを具体例として挙げながら、自分たちの暮らしが森林にどのように支えられているのかを読み解く学習を行った。六名学区のような市の中心部に生活する子供たちにとって、森林はあまり身近な存在ではない。そのため、学習に対して実感が伴っていないように感じた。しかし一方で、子供たちは自然や環境の問題には関心をもっている。ニュースなどで自然破壊や大気汚染の問題が話題になると、教師に意見を求めたり友達同士で話したりする姿が見られる。ただそれは、曖昧な知識や漠然としたイメージだけで問題をとらえ、森林に関しても、守るためには木を切ってはならないと思っている。このような子供たちの姿から、自分たちが生活している岡崎市の森林の現状、また、日本の森林の現状について正しい知識をもち、自分たちの生活と結び付けて考え、話し合える子供に育ってほしいという願いをもった。

本単元「わたしたちの生活と森林」は、「国土の保全や水資源の涵養などのための森林資源の働き」「自然災害の防止」「森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力」について調べ、理解を深めることを目標としている。また、私たちが住んでいる岡崎市は、面積の約6割を森林が占め、森林と深い結びつきをもった地域だと言える。これらのことから、国土についての理解を深めるために、地域・郷土を題材に取り上げ、子供たちの問題意識をもとに調べ、話し合う学習を進めるのに適した単元だと考える。さらに、自然災害に対する防災意識や環境問題への関心の高さなどから、森林の働きや森林を守る人々について知識や考えを深める学習に取り組むには、適切な時期であると考え、森林を守るためには、長い年月と多くの人々の工夫や努力が必要であることを知るとともに、解決しなければならない課題について考えることで、自らが生きる未来の国土に主体的に関わりをもとうとする子供が育つのではないかと考える。

これまでに学習した農業、水産業に比べると、林業は子供たちにとって生活と結び付けにくいのではないかと考える。そこで、本単元ではまず、林業について調べ学習を行う。林業に関わる様々な資料を通して、森林の現状を正確にとらえさせたい。しかし、単に調べ学習を行うのでは、子供たちは受け身的で実感を伴った学習ができないことが予想される。そこで、単元の導入時には、冬休みに行ったまだ使える机といすを新しいものに取り替えた作業を想起させる場を設定する。これは、愛知県で行われている「木の香る学校づくり推進事業」の一環で、「あいち森と緑づくり税」を活用し、愛知県産木材である「あいち認証材」を用いた机・いす・下駄箱・ロッカー等の学校への導入を助成しようという取り組みである。取り替える作業を手伝いながら、子供たちからは、「もったいないな。」「どうしてだろう。」というつぶやきが聞こえてきた。また、新しい机といすを見た時には、「何かシールがついているよ。」と、友達同士で話す姿も見られた。このように、学校生活での出来事を取り上げて学習を進めていくことで、子供たちも身近な木材を意識することができ、興味をもって学習できるのではないかと考える。それをねらいとし、まだ使えるのに捨てられてしまう机といすの謎を解明するために、林業について学習する必要があると意欲づけたい。

本時では、まず、調べたことをもとに、現在の林業は森林を守ることができているかどうかについて話し合う。話し合いの中で森林が整備されていない写真や映像を見ることで、もう一度自分の意見を見つめ直し、「調べたことと少し違うな。」「もっと知りたい。」という追究意欲を子供たちにもたせたい。その意欲が生まれたところで、ゲストティーチャーの話聞く。ゲストティーチャーは西三河農林水産事務所の林務課の方で、お話の中に、森林が整備されていない現状や理由、また、林業の現状や問題点について触れることを、あらかじめお願いしておく。実際に林業で働いている人の話を聞くことで、自然への愛情や環境を守っていこうとする思いや願いに触れることができるだろう。そして、本時で深めた林業や森林保全についての問題意識をもち、日本の他の地域における森林の学習へと視野を広げたい。これらの活動を通して、森林と自分の生活との関連を理解し、環境保全のために自分ができることを考え、実践しようとする子供に育てたい。そして、6年間使う自分の机とイスを大切にするとすることも森林を守り育てることにつながっていくことを子供たちに感じさせたい。

### (3) 計画

学 習 課 題	学 習 活 動	時間	備 考
わたしたちの生活と森林とのかかわりを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林について学習することを知り、身の回りの木製品について出し合う。</li> <li>冬休みに取り替えた机とイスのことを想起し、森林保全のかかわりについて問題意識をもつ。</li> <li>「木の香る学校づくり推進事業」について知る。</li> <li>林業という仕事があることを知る。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>運んでいる時の写真</li> <li>新しい机とイス</li> <li>あいち認証材シール</li> </ul>
林業について調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業の仕事について調べる。</li> <li>森林面積の移り変わりや木材の国内生産量と輸入量の移り変わりのグラフから、森林の様子や現状を知る。</li> <li>天然林と人工林について知る。</li> <li>調べたことをもとに、林業が森林を守れているのかについて、自分の意見をまとめる。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林面積のグラフ</li> <li>木材輸入量の変化のグラフ</li> <li>林業で働く人のグラフ</li> <li>木材の国内生産量と輸入量の変化のグラフ</li> <li>ワークシート</li> <li>図書資料</li> </ul>
林業は、森林を守れているだろうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業は、森林を守れているのかについて話し合う。</li> <li>森林が整備されていない現状を知る。</li> <li>森林が整備されていない現状や理由、林業の問題点や林業に携わる人々の工夫や努力、思いや願いについて聞く。</li> </ul>	1 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>間伐材が放置されている写真</li> <li>下草刈りがされていない写真</li> <li>森林が整備されていない様子を映した映像</li> <li>ゲストティーチャー</li> </ul>
日本の森林について調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもな国の国土にしめる森林の割合のグラフから、日本が森林大国であることを読み取る。</li> <li>他の地域の森林の様子について知る。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもな国の国土にしめる森林の割合のグラフ</li> <li>デジタル教科書</li> </ul>
森林は、私たちの生活の中でどのような働きをしているのだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林にはどのような働きがあるのか資料をもとに考える。</li> <li>森林がないとどのようなことが起こるのか話し合う。</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書</li> <li>洪水後の港の写真</li> </ul>
自分たちができることを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源の現状をもとに、自分たちにできることは何か考える。</li> </ul>	1	

## 2 本時の学習

### (1) 目標

- ① 林業の仕事と森林保全との関わりに関心を持ち、自分の考えを発表しようとする。  
(関心・意欲、態度)
- ② ゲストティーチャーの話を聞いて、日本の林業の問題点や林業に携わる人々の思いを考えることができる。  
(思考・判断・表現)

### (2) 準備

- 教師 学習課題を書いた紙、白紙の座席表、写真1（下草刈をしていない森林）写真2（放置されている間伐材）、森林整備がされていない様子を映した映像
- 児童 教科書、ノート、ワークシート、資料集、地図帳、筆記用具

### (3) 「子供が主体的に気づき、考え、高め合う」ための手立て（本時の授業の中で）

- ・森林が整備されていない現状について、子供たちの既成概念を揺さぶる写真を提示し、問題意識を高める。  
(気づく)
- ・実際に林業で働いている人の話を聞くことで、その思いや願いを身近に感じながら、森林と生活を結び付けて考えられるようにする。  
(考える)

### (4) 展開

段階 (時間)	児童の活動	教師の活動
導入 (2)	1 前時の授業を振り返る。 ・今日は、林業が森林を守れているかについて話し合うのだな。	・教室に掲示されている前時の学習内容を見せながら、自分の意見を確認させる。
展開 (1)	2 学習課題を知る。	・学習課題を提示する。
	林業は、森林を守れているだろうか	
(16)	3 林業が森林を守れているかどうかについて、調べたことをもとに話し合う。 <守れている> ・間伐や枝打ちなど、林業の人は大変な仕事をたくさんやっているのだから、守れている。 ・輸入材をたくさん使っていて、日本の木は切っていないから、日本の森林は守られているよ。 ・植林をして木を増やし、人工林を作っているから守れています。 ・付け足しの意見で、人工林が増えて森林面積は減っていないのだから、守られていると思います。 <守れていない> ・大変な仕事が多いし、働く人が減っているから守れていないよ。 ・林道の整備ができていないから、林業の仕事が進まない。だから、守れていないと思います。	・始めは、「守れている」「守れていない」「どちらとも言えない」の3つの立場の意見に関して、一人ずつ意図的指名をする。 ・積極的に発言している子供、資料を根拠にして発言している子供、友達の見解に関わって発言している子供を称賛する。 ・資料を根拠にして発言する時には、資料名とページ数を明確にして発言するように伝える。 ・友達の見解を聞いて、自分の考えが変わってもよいことを伝える。 ・板書は、子供の意見を整理して図示したり、まとめたりするなど、子供たちが視覚的に理解しやすくなるように配慮する。

(10)	<p><b>4 森林が整備されていない現状を見て、課題について話し合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・置いてあるのは間伐材かな。</li> <li>・草がたくさん生えてしまっているね。</li> <li>・森林は、遠くから見るときれいなのに、近くで見るとこんなにも荒れているのだな。</li> <li>・林業をする人が減っているから、下草刈りをしたり間伐材を運んだりする人がいない。整備されていないのだから、森林は守られていないのかもしれないな。</li> <li>・他の場所では、整備されていると思うよ。</li> </ul>	<p><b>* 岡崎の森林の写真と映像を提示し、整備されていない状況を、子供の意見をもとに明確にする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や映像を見てから、課題についてもう一度自分の意見を考え、発表する時間を設ける。</li> <li>・子供の考えを見直すために、「林業は森林を守られているか」と再度問う。</li> </ul>
(10)	<p>5 ゲストティーチャーの話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業や水産業と同じで、若い人が少なくなってきたのだな。</li> <li>・森林を守りたいけど、問題がたくさんあって、守れないのだな。</li> <li>・森林を守る仕事は大変だけど、やりがいをもって取り組んでいるのだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーが来ていることを伝え、紹介する。</li> </ul> <p><b>* 「森林が整備されているかどうか、その理由」、「林業の仕事の良さや問題点」など、話を聞く視点を子供たちに示す。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの話し合いを聞いて、率直な感想や伝えたいことを述べてもらう。</li> </ul>
整理 (5)	<p>6 友達の考えやゲストティーチャーの話から学んだことを振り返り、分かったことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな思いで森林を整備してくれていたなんて知らなかったな。</li> <li>・もっと林業について詳しく知りたい。</li> <li>・自分たちも木を使うように意識して生活すればいいのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を発表し合う時間を設け、ゲストティーチャーの思いに触れている感想を取り上げて、紹介する。</li> <li>・次時への意欲が高まるように、本時のがんばりを称賛する。</li> <li>・ゲストティーチャーに一言感想を言って頂き、お礼を言う。</li> </ul>
予告 (1)	<p>7 次時の内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地域の森林でも、林業の問題があるのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次は、他の地域の森林や林業の現状について学習することを伝える。</li> </ul>

(5) 評価

- ① 友達との話し合いやゲストティーチャーの話を通して、林業の仕事や森林保全との関わりについて、自分の考えを発表することができたか。  
(学習活動3、4の様子から)
- ② 林業に携わる人たちの、森林を大切にし、林業を守ろうとする気持ちを感じ、それを発表したりノートに書いたりすることができたか。  
(学習活動4、5、6とノートの記述から)